

# むくのきだより 6月号



令和4年6月1日 港区立赤羽幼稚園 園長 中村 美奈子

温かな関係・安心できる関係の中で育つ子供たち

園長 中村 美奈子

夏を思わせる暑い日もあり、季節の移り変わりを感じます。むくのきの緑も濃くなり、涼やかな木陰をつくっています。

先日、出張からもどると、丁度、お弁当を食べ終わった子供たちが小学校の校庭で遊ぼうと出てきたところでした。私に気付くと近寄ってきて、「イチゴジャム食べたんだ。おいしかった。」「園長先生のお部屋に、お届けしたよ。」と、子供たちが教えてくれました。赤羽幼稚園で育てたイチゴを年長ゆり組さんのアイデアでジャムにしたのです。幼稚園の入り口に置いてあるプランターで育てているイチゴ。大きく赤くなっていくイチゴを見て、登園時にしょんぼりしていた子供が、元気になったこともありました。先生や友達と一緒に育て、収穫し、味わい、「おいしいね」と言葉や笑顔で伝え合うことで、共に喜ぶ温かな関係・安心できる関係がつくられているように思います。



「温かな関係・安心できる関係」があることで、子供は、これまで大人にやってもらっていたことを自分でやってみようとしたり、相手に憧れをもちまねをしながら初めてのことに挑戦したりします。

例えば、年少さくら組の子供たちは、登園後の身の回りの片付けを教職員や年長ゆり組の子供たちにやってもらっていましたが、できないところだけ手伝ってもらい、片付けの順番の写真を見て自分でやるなどの段階を経て、5月には自分でできるようになりました。また、「なかよしになる会」で見せてもらった赤羽小学校オリジナルのねこまるダンスを、4月の「誕生会」でまねして踊り、5月の「開園記念集会」では楽しそうに踊っていました。



年長ゆり組では、「こどもの日の会」で教職員の人形劇を見て、自分たちでも人形劇をつくった子供たちがいました。「来てください」とお客さんの呼び込みをしているところに出会い、私もさくら組の子供たちと一緒に見せてもらいました。途中、うまくいかないところも協力してやり直し最後まで人形劇をした子供たち。たくさんの拍手をもらって嬉しそうでした。

年長ゆり組では、いろいろな遊びをしています。自分たちが楽しむだけでなく、5月の「誕生会」の「おたのしみ」のコーナーで見せたいという気持ちが広がり、手遊び・人形劇・色水・鉄砲をすることになりました。当日は、緊張した表情で始まりましたが、どのグループもみんなの前でやり遂げ、ほっとした表情や嬉しさがあふれる表情に変わりました。年少さくら組の子供たちも、これまでよりも長い時間でしたが、興味津々の表情で楽しんでいました。その後、年少さくら組では、ゆり組の子供たちに見せてもらった遊びが広がっています。

小学校の運動会練習が始まり、幼稚園も見せてもらっています。日常的に交流ができるのが、併設園のよさだと思います。軽快な音楽にのり、小学生の動きをまねて踊りだす子供もいます。小学生は、幼稚園の子供たちに楽しそうに見てもらったり、拍手をもらったりして嬉しそうでした。小学生に刺激を受けて、幼稚園での活動も広がっていくのではないかと期待しています。